

科目名	現代日本文化論			ナンバリング	JPN242	授業形態	講義
対象学年	2	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	久呉高之	担当教員	久呉高之				

授業の概要	副題「アニメと映画からみる現代日本文化」。戦後日本を代表する二人のマンガ家、手塚治虫と水木しげるを原作者とするアニメーションのうちに、また、第1作から63年間にわたり続いてきた希有の邦画である『ゴジラ』シリーズのうちに、現代日本文化のポテンシャルを測深し、そこに提起された様々な問題について考えることを目的とする。生と死についての二人のマンガ家の思想と、「核と日本」をテーマとするゴジラ映画の思想とについて考えるという仕方で、現代の日本文化をとおして、人間が生きることの意味を見定める。						
到達目標	1. 「火の鳥」の視聴をとおして、「ディオニュソス的なもの」の思想を理解することができる。 2. 「ゲゲゲの鬼太郎」の視聴をとおして、「生と死のはざま」という視点から人間について論ずることができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	予備知識はあまり必要ないが、哲学的問題に慣れるために、参考書で哲学的諸概念に触れておくことが望ましい。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①「火の鳥」の視聴をとおして、「ディオニュソス的なもの」の思想のポイントを説明することができる。 ②「ゲゲゲの鬼太郎」の視聴をとおして、「生と死のはざま」に生きる人間という視点をもつことができる。 ③ 日本のゴジラ映画の視聴をとおして、「核と日本」という視点をもつことができる。	①「火の鳥」の視聴をとおして、「ディオニュソス的なもの」の思想をニーチェとの関連で説明することができる。 ②「ゲゲゲの鬼太郎」の視聴をとおして、「生と死のはざま」という視点から人間について論ずることができる。 ③ 日本のゴジラ映画の視聴をとおして、「核と日本」という視点で人間の自然支配の思想について論ずることができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○					30%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○	○	○	○	70%

課題、評価のフィードバック	1 配付プリントに記入された質問に対しては、次回の授業で回答し、解説を加える。 2 最終成績評価が50点台の場合には、希望者のみレポートを課す。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	オリエンテーション	本授業の内容と意義とについて、その大枠を説明する。	
	第2回	手塚治虫「火の鳥」1 ～鳳凰編～	古代ギリシャの自然観（根源的自然）という視点から、「火の鳥」の根本的モチーフを読み解き、解説する。	
	第3回	手塚治虫「火の鳥」2 ～宇宙編～	古代ギリシャの人間観（mortal としての人間）という視点から、「火の鳥」の根本的モチーフを読み解き、解説する。	
	第4回	手塚治虫「火の鳥」3 ～ヤマト編～	古代ギリシャの人間観（mortal としての人間）という視点から、「火の鳥」の根本的モチーフを読み解き、解説する。	
	第5回	手塚治虫「火の鳥」4 ～復活編～	古代ギリシャの人間観（mortal としての人間）という視点から、「火の鳥」の根本的モチーフを読み解き、解説する。	
	第6回	手塚治虫「火の鳥」5 ～未来編～	古代ギリシャの自然観（根源的自然）という視点から、「火の鳥」の根本的モチーフを読み解き、解説する。	
	第7回	水木しげる「ゲゲゲの鬼太郎」1	第3期から第6期までのさまざまなアニメ作品を視聴し、「生と死のはざま」という視点から人間について論ずる。	
	第8回	水木しげる「ゲゲゲの鬼太郎」2	第3期から第6期までのさまざまなアニメ作品を視聴し、「生と死のはざま」という視点から人間について論ずる。	
	第9回	水木しげる「ゲゲゲの鬼太郎」3	第3期から第6期までのさまざまなアニメ作品を視聴し、「生と死のはざま」という視点から人間について論ずる。	
	第10回	水木しげる「ゲゲゲの鬼太郎」4	「墓場鬼太郎」の第1話から第4話までを視聴し、「生と死のはざま」という視点から人間について論ずる。	
	第11回	平成ゴジラの思想 1 ～ゴジラ2000ミレニアム～	西洋のドラゴンと日本の龍との対比をふまえて、日本のゴジラ映画における Godzilla の意味について説明することができる。	
	第12回	平成ゴジラの思想 2 ～ゴジラVSデストロイア～	唯一の被爆国である日本において生み出されたゴジラ映画における Godzilla の意味について、「核と日本」という視点から解説する。	
	第13回	平成ゴジラの思想 3 ～ゴジラ×メガギラス～	西洋のドラゴンと日本の龍との対比をふまえて、日本のゴジラ映画における Godzilla の意味について解説する。	
	第14回	平成ゴジラの思想 4 ～ゴジラ×メカゴジラ～	古代ギリシャの自然観（根源的自然）をふまえ、日本のゴジラ映画における Godzilla の意味を解説する。	
	第15回	平成ゴジラの思想 5 ～核と日本～	唯一の被爆国である日本において生み出されたゴジラ映画における Godzilla の意味について、「核と日本」という視点から解説する。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		基本的に、ビデオを視聴し配付プリントを読み進めながら考えていく。聞き取ったことや疑問点をプリントに書き込む作業を中心とする。		
授業外学習の指示		配付資料と参考書を中心に講義の内容を復習する。不明な点は必ず参考書で確認するか教員に質問すること。余裕があれば、次回の講義に対応する参考書の該当箇所を読み、概要を理解しておく。 (授業外学習時間： 毎週 90 分)		

教科書	毎回配付するプリントをテキストとする。
参考書	『岩波 哲学・思想事典』(本学図書館蔵)
参考URLなど	なし
その他	なし